

PROGRAM 4 Let's Enjoy Japanese Food. (実施時期：7月／配当時間：5時間)

GOALS：対話：自分と相手以外の人やものについて伝え合う。／対話：日本の食文化について理解し、伝える。／発表：身近な食べ物の特徴を伝える。

言語材料：This [That] is ～. / It is ～. / He [She] is ～. / 「だれ」とたずねる文

- ① This is ～. **This is deep-fried tofu.**
- ② 「だれ」とたずねる文 **Who's this lady?**
- ③ 代名詞 **She's my sister Aki.**

課の概要 真央の家に来たダニエルは、初めて出されたきつねうどんに驚く。そんな彼に、真央の母は別の日本食も紹介する。

時	コーナー名	主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例
		知・技	思・判・表	主		
1時	Scenes	Listen	聞く		身の回りのものについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	【知・技】 <知識> This [That / It] is ～. (肯定・否定・疑問)の意味や働きを理解している。 <技能> This [That / It] is ～. (肯定・否定・疑問)の意味や働きを理解をもとに、身の回りのものについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く			
2時		Listen	聞く		絵の中の人物やクラスメートの様子などについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	【知・技】 <知識> who の疑問文や人称代名詞の意味や働きを理解している。 <技能> who の疑問文や人称代名詞の意味や働きを理解をもとに、絵の中の人物やクラスメートの様子などについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く			
3-4時	Tuning in 本文		聞く 読む	聞く 読む	・登場人物が学んだことを他の人に伝えるために、日本の食文化についての対話を読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・日本の食文化について他の人に伝えるために、対話を読んで、概要や要点を捉えることができる。	【思・判・表】--【主】 日本の食文化について他の人に伝えるために、対話を読んで、概要や要点を捉えている [捉えようとしている]。
5時	Review Action		発表	発表	・日本の食文化について他の人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。 ・相手が回答しやすいように、食べ物の色や特徴をわかりやすく説明し、クイズとして書いたりたずねたりすることができる。	【思・判・表】--【主】 ・日本の食文化について他の人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話している [話そうとしている]。 ・相手が回答しやすいように、食べ物の色や特徴をわかりやすく説明し、クイズとして書いたりたずねたりしている [書いたりたずねたりしようとしている]。